タンザニア・ビジネスニュース（２０２３年１０月分）

１　タンザニア一般事項（政治、社会等）

1. **サミア大統領、中東訪問（２日付、大統領府報道発表）**

１日、サミア大統領はドーハ国際園芸博覧会２０２３に出席したほか、２日、サウジアラビアを訪問。

1. **サミア大統領、インド訪問（９日付、大統領府報道発表及び１０日付、大統領府公式Ｘ）**

印タンザニア首脳会談で両首脳は両国の戦略的関係強化を進めることで合意。また、サミア大統領は、１０日、ジャワハルラール・ネルー大学において名誉博士号を授与された。これはプーチン大統領、安倍元首相に続く３人目であり、女性としてインドの大学から名誉博士号を授与されるのは初。

1. **タンザニア通信規制庁（ＴＣＲＡ）、ＶＰＮ利用者にＩＰアドレスを開示するよう要請（１３日付、シチズン紙）**

ＴＣＲＡは、国内でＶＰＮを使用する個人及び企業に対し、１０月末までにＩＰアドレスを含む全ての必要な情報をオンラインで登録するよう通達。違反者には５００万シリング以上の罰金、１２か月以上の禁固あるいはその双方が課される。

1. **マジャリワ首相、世界食料デーのためのイタリア訪問（１６日～２２日付、首相府公式Ｘ）**

マジャリワ首相は、サミア大統領の名代として世界食料デーに出席するために１６日から７日間の日程でイタリアを訪問。ＦＡＯ事務局長や工業都市として有名なロンバルディ州の州知事と会談したほか、第３回伊タンザニア投資経済フォーラムに出席。

1. **サミア大統領、第５９回ザンビア独立記念式典出席のためのザンビア訪問（２４日付、大統領府報道発表）**

サミア大統領は、２３日から３日間の日程でザンビアを訪問。

1. **イスラエル・パレスチナ紛争（８日、１８日、２６日付、外務・東アフリカ協力省報道発表）**

外務・東アフリカ協力省は報道発表を発出し、イスラエルとパレスチナの紛争に関し、全ての暴力を非難するとともに真正な対話による問題解決を求めた。また、イスラエル在住タンザニア人９名が１８日にタンザニア政府の支援によって帰還し、ビャバト外務・東アフリカ協力省副大臣が空港で出迎え。２６日時点では、未だ２名のタンザニア人が行方不明。

1. **独タンザニア首脳会談（３１日付、大統領府報道発表）**

サミア大統領は、３０日から３日間の日程でタンザニアを訪問中のシュタインマイヤー独大統領との首脳会合で、２０２４年の開発協力対話実施に合意。植民地時代の歴史問題について、議論する用意があると発言。

２　経済

1. **タンザニア、トルコ企業の頓挫でＳＧＲプロジェクトのプランＢを検討中（２日付、イーストアフリカン紙）**

ンチェンバ財務大臣は、標準軌道鉄道プロジェクト（ＳＧＲ）に関し、主契約者であるトルコのYapi Merkezi社の財政難を受け、資金調達を目的にスペインやスウェーデンを訪問。

1. **ガソリン価格上昇が継続している理由（５日付、シチズン紙）**

主要な石油輸出国であるロシアとサウジアラビアによる減産により、ガソリン価格は４カ月連続で値上げし、１リットルあたり３，２８１シリングに上昇。

1. **タンザニアの食糧供給は十分だが、価格上昇が懸念（６日付、シチズン紙）**

タンザニア中央銀行の報告書によると２０２３／２０２４年度のタンザニアの食糧自給率は１２４％だが、燃料価格や肥料の高騰により、貧困層の食糧アクセスに懸念が残る。

1. **ルスモ水力発電所、完成間近に（８日付、シチズン紙）**

タンザニア、ブルンジ及びルワンダにまたがるルスモ発電所の最終テストが今月末に完了し、年末から稼働予定。３国は、８０ＭＷの発電規模を有する同水力発電所の電力供給を均等に分割する見込み。

1. **タンザニアとインド、貿易関連のＭＯＵ締結（１０日付、ガーディアン紙）**

サミア大統領は、インド外遊中にモディ・インド首相と会談し、経済関連のＭＯＵを複数締結。

1. **Ｃｏｖｉｄ－１９からの回復により、製造セクターが伸長（１６日付、シチズン紙）**

政府統計によると、２０２２／２３年度の製造セクターの収益は、昨年比８．６％増の１３．７兆シリング。コロナ感染症からの回復による輸入材供給量の安定、ビジネス環境の改善、ＥＡＣ統合による近隣国からの需要拡大が伸長の背景。

1. **タンザニア政府、加鉱物企業への補償に合意（１８日付、シチズン紙）**

タンザニア政府は、カナダ鉱物大手Winshear Gold社に９，６００万ドルを支払う旨を投資紛争解決国際センター（ＩＣＳＩＤ）の法廷外で合意。同社は、マグフリ前政権下の鉱業法改正に伴い、ライセンスを不当に剥奪されたとしてＩＣＳＩＤに提訴していた。

1. **タンザニアと米国、商業関係強化に向けＭＯＵを締結（２０日付、ガーディアン紙）**

キジャジ投資・産業・貿易大臣は、両国の商業関係強化に向け、米国大使館とＭＯＵを締結し、デジタルエコノミー、規制緩和、貿易強化及びビジネス環境改善に向けて協力を表明。

1. **タンザニア政府、ＵＡＥ港湾大手企業と契約を正式に締結（２３日付、シチズン紙）**

タンザニア政府は、ダルエスサラーム港湾開発・運営委託問題に関し、ＵＡＥ企業DP World社と３つの契約に署名。

1. **タンザニアとザンビア、サミア大統領訪問を機に天然ガス開発プロジェクトに合意（２６日付、シチズン紙）**

タンザニアとザンビア両政府は、サミア大統領のザンビア訪問中、経済や安全保障及び医療関連などの８つのＭＯＵを締結。タンザニア産の液化天然ガスをザンビアへ輸出するために、パイプラインの建設計画に合意。

1. **タンザニアの鉱物セクターは投資を歓迎（２７日付、ガーディアン紙）**

ビテコ副首相は、２５－２６日に開催された国際鉱業・投資フォーラムにおいて、投資を要請し、高精度地球物理学調査(High Resolution Geophysical Survey)技術を活用し、鉱物探査を進める意欲を表明。

1. **アフリカ債権問題の原因は中国ではない（２７日付、シチズン紙）**

ＩＭＦの報告書によると、サブサハラアフリカ各国の公的債務における対中債務は、過去１５年間で６％程度のみ。同報告書は、国内債務削減のため、経済多角化や税収増加を通じた財政の健全化を提言。

３　開発協力

1. **ＵＮＩＣＥＦと加、出生証明書発行を支援（４日付、デイリーニュース紙、ガーディアン紙）**

ＵＮＩＣＥＦや加の支援を通じて登記破産管理局が実施中である、子どもの登録と出生証明書の発行に係る事業により、キゴマ州の約４０万人の子どもが出生証明書を取得する予定。

1. **ＥＵ、ＥＡＣ市場のアクセス向上に４，０００万米ユーロを提供（４日付、ガーディアン紙）**

ＥＵが４，０００万ユーロを資金提供するＥＡＣ市場アクセス向上に係る事業のフェーズ２が開始。ＥＡＣ内の農業関連企業の能力強化を目的としている。

1. **印、救急車１０台を供与（６日付、デイリーニュース紙、ガーディアン紙）**

印は、タンザニア保健省に対し医療品と救急車１０台を供与。

1. **ＪＩＣＡ、タンザニア歳入庁の税務監査向上に係る事業を開始（７日付、ガーディアン紙）**

ＪＩＣＡは、国内歳入の動員を促進するため、タンザニア歳入庁の税務監査向上に係る事業を開始。４年間の同事業は、リスクベースの税務監査における業務プロセスの改善を目的としている。

1. **スウェーデン、ムヒンビリ保健科学大学の研究活動を支援（１０日付、シチズン紙）**

スウェーデンは、バイオリポジトリとイノベーション・インキュベーション・ハブを開設。

1. **ＥＵとＦＡＯ、農業機器を引渡し（１１日付、ガーディアン紙、デイリーニュース紙）**

ＥＵとＦＡＯは、実施中の農業事業にて、車両やドローン、農業実験機器等、総額２２億シリング相当の機器をタンザニア政府に引渡した。タンザニア植物衛生・農薬局の能力強化を目指す。

1. **ＵＳＡＩＤ、母子保健事業を開始（１４日付、デイリーニュース紙）**

ＵＳＡＩＤは、ＨＩＶ／ＡＩＤＳから母子保健を保護する事業を開始。米国大統領エイズ救済緊急計画（ＰＥＰＦＡＲ）より１，３６０万米ドル規模の資金支援を受け、２０２３年から５年間実施予定。

1. **中国、キゴマ州キゴマ北選挙区での医師キャンプを立ち上げ（１９日付、デイリーニュース紙）**

中国は過去６０年近く、タンザニア国内で医療キャンプを実施してきている。

４　東アフリカ共同体

1. **停滞していたＥＡＣ予算、ようやく成立（１１日付、シチズン紙）**

ＥＡＣの２０２３／２４年度予算は、タンザニアとコンゴ（民）の反対により数ヶ月間停滞していたが、ＥＡＣ立法議会（Ｅａｌａ）は、予算案を最終的に承認。

1. **拒否権付与には注視が必要（１７日付、シチズン紙）**

財政的貢献度の高いＥＡＣ加盟国にＥＡＣ議会の議決拒否権を付与するというケニア議会の提案に対し、政治アナリストは、ＥＡＣ全体ではなく自国の利益を追求しかねないと指摘。

５　治安関係

1. **マラで大麻畑と加工工場を破壊（１０日、デイリーニュース紙）**

麻薬取締執行局（ＤＣＥＡ）は、治安当局と協力し、マラ地方で行われた１週間の特別作戦において、８０７ヘクタールの大麻畑を破壊し、５０７袋の乾燥大麻を押収した。タリメ・ロリヤでの作戦では、大麻の種子５０袋も押収され、袋を加工・包装する２つの工場も破壊された。

（了）